

中国語を学ぶ会  
平成21年12月  
第31号

# 你好



編集・発行 連絡先  
渡邊 邊  
電 話  
090-8588-243

## 『中国語を学ぶ会』会長就任を経て

会長 渡邊 敏行

21年4月会員総会の席で会長就任を仰せつかり、2年目の新参者としてははなはだ荷が重かったのですが、役員の皆様、会員の皆様の心温かいご協力により努めさせていただいております。中国事情は多少知識があるものの、中国語はまだ未熟で、精進の毎日ですが、一日も早く皆様のレベルに追いつきたいと考えております。

会のホームページの更新作業も時折しておりますが、情報不足もあり、なかなか面白さが発揮できていません。皆さんに参画していただく事がよりよいものになると思います。宜しくお願いいたします。

ホームページアドレス：

<http://www.manabukai.sakura.ne.jp/>

请大家上网查询

### 新しい役員は次の通りです。

役 職	氏 名	クラス	役 職	氏 名	クラス
会 長	渡邊 敏行	水 曜	月曜役員	薄井 則久	月 曜
副 会 長	小野寺 登	火 曜	月曜役員	浅倉 恵子	月 曜
副 会 長	大類 悦子	木 曜	火曜役員	小林 由紀江	火 曜
会 計	福永 静雄	木 曜	火曜役員	山口 裕子	火 曜
会計監査	佐藤 真智子	木 曜	水曜役員	蜂屋 和男	水 曜
にいはお	中山 明弘		木曜役員	福永静雄(仮)	木 曜
ホームページ	渡邊 敏行		木曜役員	三橋 直行	木 曜

### 会員からのアンケート

## 中国語を始めたきっかけを教えてください。

星期一班 泉 哲夫

娘が約15年以上前から北京に在住している関係で、数回中国に旅行している。娘の関係で北京に親しい知人もいて、中国には大変親しみを持っている。

数年前に約2年間広東省で日系の工場の建設工事の仕事をしたが、日常業務では日本語通訳がついていて言葉には特に不自由がなかったので在任中は言葉をまじめに勉強する機会がなかった。

日本に戻り、中国での体験や生活を思い出し、またいつか中国に旅行したいと思

いが強く、まずは中国語を習いたいと考えた。

星期一班 泉 初代

娘が北京に在住しており、何度か中国に行きましたが、中国語をまったく話せず、どこへ出かけるにも日本語のできる中国人の知り合いや、娘に頼るばかりでしたので、一人で近所に出かけられるくらいの中国語を話せたらと思い始めました。

星期一班 浅倉

主人が始めた習い事を私が後を継いで、おります

正直中国語には興味がなかったのですが、主

人と共通の趣味を持つのも良いかなと思い始めました。

星期一班 下川 瑞枝

2008年4月太極拳の講習をかねて、同好会の仲間達と4~5日、北京へ出かけました。繁華街のビルの地下、鏡のはってあるダンス場か練習場で、午前中2日間は本場の太極拳の先生にみっちりしごかれましたが、解放された時間は北京近くの観光に当てられました。

どでかい歴史建造の柱・壁・天井等の彫刻・文様・色使い、そっくりだ、日本の日光東照宮の建物に。

本家本元お手本を目の当たりにした思いです。 そうだ！漢字もこの国から、仏教もこの国を經由して伝わった。弘法大師も勉強に行ったんだ。私も遅ればせながら中国語に興味を持ち、この春平塚広報でこの会と出会い、4月から中国語のいろはの勉強を習い始めました。人生短いと申しますが、あせらずのんびり楽しみながら学習していきたいと思います。

星期一班 薄井則久

2年前(2007年)の4月、北京・西安を4泊5日で観光するツアー旅行に参加しました。初めての中国であったがツアー仲間とも気が合い楽しい旅でした。旅行2日目、西安の「大



雁塔」や「秦の兵馬俑坑」の観光に満足し、次の観光地「北京」に向かう寝台列車に乗るため「西安駅」に着き、出発時間までホームで待っていると音楽のような美しい言葉で案内が流れていた。



それまでは中国語という甲高い声で喚いている(失

礼!)といった印象を持っていたが、日本語とは違う中国語の響きにうっとり聞きほれてしまいました。西安駅での放送を聴く前に伏線があったのかもしれませんが。

私の妻の友人が西安に行ったら西安に住んでいる中国の知人にお土産を渡して欲しいと依

頼され宿泊先のホテルで会い、初対面とは思えない程の楽しい一時を過ごしました。(翌日の早朝に彼女の父が画いたという”駿馬”の墨絵をお土産に持って来てくれた)その時、私が出



来た中国語は「晩上好」と「再見」だけで、片言の会話でも出来ればもっと楽しだろろうなと思って

いたところでしたので、西安駅で

聴いた中国語のアナウンスが余計心に響いたのでしょう。

旅行から帰った後、漠然と「中国語を習おう！」と思っていたところに、広報「ひらつか」に”中国語を学びませんか”の案内が出たので行ってみました。ところが08年度は入門クラス的人员が少なくクラスを作ることが出来ず断念。そして今年の3月前会長の中山さんから「入門クラス」が出来そうだから参加しませんか?のお誘いを受け、再び西安駅での美しい響きを思い出して(でも、現在はその響き=四声が出来ず四苦八苦しています)中国語を習ってみようかと思ったのです。

もうひとつ、私には”夢”があります。中国の歴史物(秦の始皇帝、項羽と劉邦、三国志など)が好きで読み物は勿論、TVの中国紀行番組を好んで見っていますが、以前、山西省にある「平遥」と云う街は城壁だけでなく城壁内の街までが”明”の時代のままに保存されていると紹介されたのを見て、ツアーではない個人旅行で行ってみたいと強く思いました。その時、中国語で挨拶と片言でも会話が交わせたら(難しいでしょうが)楽しい旅になるだろうなと思ったことも中国語に関心を持ったきっかけです。

星期二班 渡邊 敏行

私は約20年前上海に仕事で訪中しました。通訳がついての商談は何の問題もなく、余暇には上海人に交じっての上海語を面白半分にかじっていた状態でした。

リタイア後の現在、ここ5年ほど中国各地に興味をもち、仲間を募って「気ままな自分デザインの旅」を楽しんでいます が、ここで言葉の障害が現れてきます。あれだけ中国に

行っているのに満足な会話ができない、不甲斐なさを感じています。改めて基礎から勉強しなければダメだ。痛感したのが切っ掛けです。

星期二班 松本 直重

十年以上も前であったか、三峡ダム建設の話があり、完成すると水位が百メートルも上がってしまい、三峡の景色が一変してしまうと言うことで旅行仲間に誘われて参加した。上海・蘇州・杭州を巡り重慶から乗船し、2泊3日の長江下り（三峡下り）を行った。その間乗り物から降りる時“再見”と10回言ったが回答してくれたのは2回だけだった。今考えると無理もない。四声もなくカタカナ表記の会話集を棒読みで発音していたのだから。

その後太極拳の練習で北京へ行き、中国人の先生に教えて頂く機会があったが、全て中国語で話され十分な理解が出来なかった。

太極拳を深く極めるためには中国語は必要である。と言われ、ボケ防止にも有効だと言われ習い始めた。

星期二班 小野寺 登

8年前、勤務先の永年勤続旅行で中国へ行った。それまでの私の中国に対する印象は悪く、はっきり言って興味は、無かった。旅行期限が、せまっていた時に、航空会社から中国ツアーの案内が舞い込んだ。家族に『中国でもいい?』と聞くと『いいよ』と言うので申し込む。

行って見て、中国に対する私の印象は一変した。行き先は西安、北京であったが、特に西安は子供の頃にタイムスリップしたような気持ちになった。

ほっぺの紅い少女、大きな話声のおばさん達、カッコをつけないお父さん達、けっして金持ちではなさそうだが暗さはない。

マスコミの報道では得られないものを、たくさん感じた。その後も何回か行くうちに現地の人と話ができたらな・・・と思うようになった。

会社では、通信教育を奨励していたので、ある年、中国語会話に挑戦した。出題の文章は、なんとか作れるが、発音は全く自信が無かった。回答期限に追われ、適当に回答する

だけであり、身に付くものではなかった。

その後も中国語マスターは忘れられず、定年まで半年となった頃、現地留学を考える。定年退職1ヶ月半後の5月中旬に留学する。

ところが学校は、3月初めから始まっているので私が入学した時は、すでに第15課だった。発音は、とっくに終わっている。どの老師も、日本語を話せない。お先真っ暗であった。

そんな時に、日本語を専攻する中国の学生達に捕まる。『先生、私に日本語教えて下さい』という。私は『教えるところじゃないよ。中国語を習いに来たのに老師の話していることが、わからないので授業に付いていけないのだから』 学生は『じゃ中国語は私が教えるから』という。私は、『それもいいか』と即決する。

その後も交流学生は増え5人となった。中国の学生達のお陰と、授業中に想像力を発揮(?)することで、少しずつ授業に付いていくことが出来るようになった。だが出発時は2年間程度と考えていた留学は、諸事情で半年で断念せざるを得なくなった。

星期二班 大野 祝宣

中国との出会いは仕事で3ヶ月間 1999年10月中国に出張したことに始まる。

関空から天津濱海国際空港にANA便で飛んだ。

言葉も分からず知っている単語は、「こんにちは ニイハオ」「さようなら ザイジェン」「分かりません ブゥミンバイ」「知りません ブゥジダオ」位なものである。

旅の携帯品は「ひとり旅これで十分中国語会話」「エリアガイド北京天津」とした。

毎日、ホテルから工場までマイクロバスで通勤する。途中で社員を乗せながら1時間ぐらいかかって工場に着く。日本人は小生入れて5人、中国人は5人、バスの中は日本語、中国語が飛び交う。小生の中国語の練習での変な発音に。皆に笑われたものである。帰りも同じパターンである。仕事は筆談、中国の社員は皆若いので呑み込みも早いが生はチンブンカンブン。

例えば「この図面をコピーしてください」通訳に中国語に翻訳してもらおう。{这张图纸



复印一下}「チェイジャントゥジフウイン  
イイシャ」このような具合である。

休みの日には中国駐在の同僚に市内観光にも連れて行ってもらったりもしたが、一人ではタクシー・バスにも乗れず、買い物もままならない有様で何とも仕様がなかった。後でバスを降りるときは停留所の手前で「シャー」と言えばよい。と教えてもらったが、また街でよく中国人と間違えられて声をかけられた事もあった。相手はとも場所・道を尋ねているのであろうと思うが、言葉はさっぱり分からないのでいつも {プーミンバイ} {プージタオ} で通した。

この様な事で又、中国に来る機会があったら、少しでも言葉が出来たら、という思いでNHKラジオ中国語講座、テレビ中国語を見たり、聞いたりしていましたが「広報ひらつか」の入会案内を見て、仕事を離れた2008年11月から「中国語を学ぶ会」に入会させて頂いた次第です。

星期三班 中山 明弘

1. NHKドラマ「大地の子」を見て、中国へ一度は行ってみたいと思っていた。
2. ニュースで三峡ダムが完成、貯水が始まり、長江・山峡及び白帝城も変貌するとのこと。
3. 1999年に定年退職したので、中国へ行くには中国語を話したいと思い、丁度 000年4月からこの「中国語を学ぶ会」に入会し“汉语”を学び始めました。

星期三班 蜂屋 和男

- 1、15年前に台湾で2年間仕事で赴任した時に中国語に関心を持ったからです。
- 2、“防止衰老”の為です。

星期三班 竹内 克司

2003年11月に中国での新会社設立のプロジェクトリーダーに任命され、F/S作成に取り掛かりました。

会社設立関係申請書類等を調査していく過程で中国語学習の必要性を感じ1回/週のペースで中国語教室に通い始めました。

翌年7月に会社を蘇州新区に設立し、9月に中国蘇州に本格赴任しました。

その間、中国語は普段の生活・勤務及び独学により若干の進歩はしましたが、4年半の永さに値するほどの進歩はありませんでし

た。

進歩しなかった理由としては本人の努力不足が第1要因ですが、6,000人前後の日本人が在住し、日本語だけでも生活出来るという蘇州の特性も一つの要因です。

星期四 佐藤 真智子

私は突然主人をなくしました。それを期に今まで全然接した事のない言葉に触れてみようと思いました。

日本の近くロシア、韓国、中国、色々考えて何となく可能性があると思えたのが中国語でした。ずっとラジオを聞いて発音を聞き、最初は抵抗があっただけであきらめかけたのですが、書道で書く漢詩にもつながっているので、始めました。

星期四班 大類 悦子

ようやく自分自身で使える時間が出来始めた頃、ボランティアで教えて下さる講座を見つけて興味半分参加したのです。

そこで中国の延吉から来日したという20代後半のK老師と出会いました。

彼女のエネルギッシュなこと・・・

小学校から大学、就職、来日までの話のほほんと過ごしていました自分を振り返り圧倒されました。

現在の私は彼女のパワーに後押しされて汉语教室に参加しているのです。

星期四班 福永

中国は、近くて遠い国だなと漠然とした思いしかありませんでしたが、6年ぐらい前に、中国で現地生産をするプロジェクトのメンバーになり、現地調査に行くことになりました。

せっかく中国に行くのだから、挨拶ぐらいは中国語でやりたいなと思い、この会に入っていた方にカタカナ中国語を教えてくださいました。中国に着いた最初の夜、食事にいった時『ハオチーウ』と言ったら、係りの女の人に大笑いされました。部屋から出るときも、必死に笑いをこらえていたのを今も覚えています。何故笑われたかも解らないまま、帰国しました。

このまま、中国に行ったらまずいと言う思いと、少しでも話せば生活も楽し、コミュニケーションも取れるだろうと言うこ

とで、この会に入会し中国語の勉強を始めました。ただ、プロジェクトは5ヶ月で中止になりましたが、私の中国語の学習は、今日まで続いています。

星期四班 宿屋 飯盛

あれは多分17～18歳のころだと思う。将来、ひとつの楽器の演奏と、ひとつの外国語をマスターすれば、充実した人生が送れるのではないか。しかし理想は実行をとまなわなかった。30歳も過ぎたころ、仲の良い同級生の一人が、台湾へ長期出張が決まり、5～6年は帰れないとのこと、送別会を開きその席で、みんなで一度台湾へ遊びに行こうではないか。話は直ぐにまとまったが、仕事と家庭を抱えて、具体的な方向にはなかなか話が進まず、同級生の忘年会の話題はいつ台湾に会いに行くのか、どうする、で月日だけが過ぎていった。

志の高い人たちだけ（台湾へ何とかいけそうな人）4人で、毎月積み立てを1年間行い、1984年8月をめぐり、計画は具体化した。全員初めての海外旅行です。

仲間の中で1人独身だった私は、気楽なもので、金銭的問題、家庭内の軋轢、どこ吹く風で、中国の歴史や、言葉も少し勉強しなければと、漠然と考えていた。

当時安く出回り始めた、ビデオデッキが欲しくなったが、ただ欲しいだけでは...。そうだビデオデッキを買ってNHKの中国講座で中国語の勉強しよう。桜のつぼみが膨らみ始めたころだと記憶します。

それから4ヶ月、簡単な会話ぐらいは大丈夫だから、安心して台湾の同級生に会いに行こう。3人で8月9日出発（積み立てたお金で、ハムの無線機が欲しいと言いついで、1人脱落）失敗もあったけど、何とか通じたときもあり、私としてはそれなりに良かったかな。しかし他の2人の評価は散々だった。それが中国語の学習を続ける後押しとなった。86年中国語の学習も3年目に入るころから、仕事の都合でやたらと出張が多くなり、中国語の学習は、ラジオ中国語講座のテキストとテープをセットで購入、出張先や往復電車などで続けていた。4月～9月までは順調だったが、10月以降、内容が難しくなり、私の実力ではついて行けず、ここで挫折。25年後、定年を迎え、荷物の整理をしながら捨ててしまうのは簡単だけど、3年分のテキストとビデオとカセットのテープがなんだか惜しくなり、どうせ暇だし、ボケ防止の役にも立つだろうと。今日に至る。

台湾旅行に一番熱心だった友、積立金でハムの無線機欲しいと言った友、この二人とは何でも話し合えたし、お互い助け合った、生涯の友のはずだった。しかし二人とも、病を得、鬼籍に入ってしまった。

## 今中国語を学んで感じていること。

星期一班 泉 哲夫

昨今の政治、経済又は日常生活にとっても、日本と中国との関係は非常におおきくなって来ている。

中国語を学ぶことによって、中国の歴史や文化に益々深く興味を持つようになって来ている。

星期一 泉 初代

中国語は日本と同じ漢字なので理解しやすいと思いましたが、日本語にはない有気音、無気音、鼻音、そり舌音の区別や声調というもので字も意味の違ってしまふので、なかなか難しいです。

しかし、言葉の勉強をしながら昨今の中国事情を知ることが出来るのも嬉しいことです。

星期一班 浅倉

入門コースでの学習はとても楽しいです。

勉強あり、皆さんの中国に関するいろいろなお話が聞けて、2時間がアツという間に過ぎていきます。

何を質問したら良いのかと言う理解の浅さではありますが、日々中国語が身近に感じられるのは確かです。

もっと復習する時間を作り、実行しなければと思っています。

星期一班 下川 瑞枝

李先生から現在の中国のニュースや人々の生活の話等身近に聞くことが出来ますし、同期の人たちの多くが何らかの形で中国とつながりを持ってられるようで、その話等も聞けるチャンスがありますから楽しみです。

もう少し私の語学レベルが上がったら、他のクラスにも見学に行きたいのですが、いつのことやら、何しろ日頃中国語を話す相手が近くに居ないものですからと不勉強の言い訳を自分にしています。

星期一班 薄井則久

発音と四声の難しさに四苦八苦しています。母音のeの発音が「エ」口のかまえで「オ」と言うなんて忝くに書かれていますので、自習をするとう口の形がおかしくなってしまいます。”李老師”は「説明より音を真似すること」と言って教えてくれますので、ひたすら老師の発声を真似しようとしています。8月からテキストがNHKの”まいにち中国語”になり、日常会話の中から発音や用法を練習して片言ながらも会話（まだ20フレーズほどですが）が出来るようになり始めたところです。この”学ぶ会”で、私が楽しみとしている事は忝くの会話から話が発展して、老師が中国の日常会話の中から家族関係や物の考え方に話が広がっていくことです。これはテレビやラジオ講座での自習学習では出来ないことと感じています。又、学習の間の休憩時間に話す雑談にも大変興味があり楽しみです（中国の住宅事情や共働きについてや一人っ子政策、旧正月での帰省列車事情など内容は興味津々です）月曜日は帰宅後、妻に「今日の”学ぶ会”ではこんな話題で盛り上がったよ」と話しています。

中国語を習い始めてまだ7ヶ月、まだまだ発音も四声もあやふやですが”継続は力なり”と言った言葉があるようにずっと楽しみながら中国語を学んでいければと思っています。

星期二班 渡邊 敏行

火曜日クラスに07.06入会して、2年以上経ちましたが、一向に上達していない自分に愕然としています。忙しさを理由に勉強しないのが原因だということは分かり切っています。

中国を少し知っているし、言葉は聞きなれてい

るのでヒアリングは何とかついていける、文字は大体解る、ところが 大変だ、ピンインがまるで解っていない自分に気が付きました。

時間の許す限り月火水木と勉強しましょう。ここが当会のメリットですね。いつでも何回でも授業に参加できる。有難いことです。毎日精進、毎日勉強、今年の目標を立てました。挫折、挫折。

星期二班 松本 直重

毎日少しずつ学習していけばよい。積み重ねてゆけばものになる、と言われるが、発音・聞き取り・書き取り、どれも難しい。覚えることは遅く悪く忘れるのは早い。非常に難しく苦勞している。

星期二班 小野寺 登

平塚に戻った後も、中国語の勉強を続けたいと考えていた。そんな時、平塚広報で”学ぶ会”の紹介記事を見かけ、即入会する。初めは、授業時間が短いな・・・進みが遅いな・・・と感じた。だがその反面、日本語での説明に、なんと、わかり易いことか。それまでのイマイチ解らなかつたことが、スッキリすることが多々あった。

なにせ、留学時はピンインにフリガナを付けて読むことが多かったが、今は不用(?)になったしカタコトの中国語だが単独旅行も出来たのだから・・・進歩しつつけていると自分に言い聞かせている。

又、中国語学習は耳で聞きとり（目で読取り）、脳で解釈し、答えを作り、口から放つ（書き取る）。この一連の作業は最高のポケ防止法と思う。その特効薬を毎週、李老師が処方してくれているだと思っている。

入会し、もうすぐ2年となるが最近は、マンネリに陥っているの、”初心を思い出せ!”と自分の尻をタタキたい。

星期二班 大野 祝宣

中国語を学び始めて11月で1年になります。ピンイン、四声、簡単字、語順とむずかしいことこの上なしです。授業での李老師の発音による{単語の書き取り「ピンイン、四声、漢字」}練習、および{文章の書き取り「日本語を中国語に直す」}練習、その後の李老師の模範解答、添削は非常に効果的だと思います。四声では二声・三声の聞き取り不可。



簡体字が書けない。語順が分からない。など上げたらきりがありません。

例えば日本語で「私は明日新幹線で大阪に行って買い物をするつもりです。」中国語で単語を並べると1、「明日我打算座新幹線去大阪買東西」2、「明日我打算去大阪買東西座新幹線」3、「我打算明日座新幹線去大阪買東西」と。色々書ける正解が分からない。日本語の言い回しで「私は明日、買い物をしに大阪に新幹線で行くつもりです。」とした時、上と同じ中国語の語順で良いのか？など、楽しく学んで少しでも通じる中国語を目指したいものである。

星期三班 中山 明弘

1. 後期高齢者となり頭が固くなり“活到老，学到老” huó dào lǎo , xué dào lǎo をモットーに学んでいます。
2. 学び始めて約 1 年経つと殆どの人が辞めて行きます。実に残念です。
3. ただこの会に来て「中国語」だけを勉強するのではなく、ここをステップに中国語検定試験を受験・合格(3 級・2 級等)を目標に、さらに中国旅行を計画、旅行で使える中国語を心がけて学ぶ。
4. でなければ楽しく中国語で“中国の歌”を唄ってみて、又運動のため“太極拳”や“唐詩の朗読”及び“中国料理”等を中国語を通して学んでみては
5. そうすれば、中国の友達が来て一段と楽しく“中国語”の勉強ができ、長く中国語を継続できると思います。

星期三班 蜂屋 和男

私の中国語を継続しているのは老化防止(防止衰老)の為です。

ですから会話には特に力を入れてません。会話は中国旅行をした時レストランや買い物が出来る程度で良いと思って勉強しています。

私の中国語の勉強に目的は多くの単語を覚え、中国の新聞を見て少しでも理解出来るようになる事、中国旅行中に見る看板や店先に書か

れている文字が理解できるようにと勉強しております。

星期三班 竹内 克司

日本に帰国し、せっかく始めた中国語なのでまず自分のレベルを知ろうと思い中国語検定の3級を受検し、何とか合格しました。

中国語を少し話せるだけで、中国各地へ旅行した時や従業員とのコミュニケーションで大役に立ちました。

今後とも中国語に関わっていこうと思っておりますが、どう関わっていくかは現在思案中です。

星期四班 佐藤 真智子

最初からずっと一番むずかしいのは発音です。今迄にむずかしくてわからない所がたくさんあります。でも辞書をひく事も好きで、文章も楽しいです。

1 人では分からない事も大勢でやれば楽しく又永続きすると思えます。語学を通して数多くの人と知り合えて大変幸せに思っています。

星期四班 福永

私が習い始めた時の仲間は、十数名いたのですが、今2人だけになってしまい寂しい限りです。

何回も止めようと思いましたが、『継続は力なり』と言う思いでマイペースで実施して来ました。

又 新しいいい仲間にも恵まれ楽しく学んでいます。先生にとっては、出来が悪く、教えがいのない生徒だと思えますが、今後ともよろしく願います。

星期四班 大類 悦子

向学心に燃えた同学と一緒に学習でき、有意義な時間を過ごせてとても幸せです。

## 私の駐在記

2009年11月10日  
揚子江の傍で (中国滞在記)  
星期二班 島田

日曜日の朝、「このホテルから西の方に真直ぐ歩いて行くと、10分位で揚子江に出るよ」と聞いて早速やってきた。ここは安徽省芜湖市北部の開発区近くの揚子江の東側の土手の上。

雨上がりの曇り空、土手の上に立って向こう岸を見るが、かすみがかかったようになっていてはっきり見えない。広いと言うよりとにかく「でかい」、「でかい」のである。

ここ芜湖市付近は狭くなっているところ、と聞いているがそれでも2km近くもあろうかという川幅である。晴れた日には向こう岸ははっきり見えるが、雨の日はかすみではっきり見えません。ただ見ていても、流れは？上流は？がわからなく、巨大な湖のようである。

残念ながら清流とはほど遠く、濁った水である。

しかしながら大河ゆえに川の恵みは大変豊富である。市場の魚売り場の水槽や籠にも、レストランのロビーの水槽にも、ウナギ、ナマズ、ドジョウ、スッポン、カメ、カエル、雷魚、川エビ、コイ、フナの親分(名前?)のような魚、等々。

内陸の料理店の魚と言えば川魚のようです。最近は養殖物が多くなってきているようであるが？……。料理は香辛料等でいろいろ工夫されていますが、何とも言えないにおい？味がして、「昔懐かしい！」と思えばそれなりに食べることはできますが……。

もちろん最近では、流通が容易になり、かなり活発になってきており、内陸部でも多くの海

鮮産物が大きな超市で入手でき、大きなレストランで食することができます。特にカニ、海老は高級品です。

私がこれまで最も長期間滞在しましたのが、ここ「安徽省芜湖市」で、南京市から南南西100Kmくらいに位置する、揚子江(現地の人「長江 cháng jiāng」と言うようです)の東側です。

夏は35℃前後まで上昇することもあり、大河の傍で湿度が高く蒸し暑い、冬は雪が多少降り(積もるときもある)、関東地方北部に似た気候です。

芜湖市=蕪湖市で、文字の意味する通り「湖の無い都市」と書きますが、実際は到る所に湖、池、水たまり？が有り、かつての揚子江の氾濫の歴史？をうかがい知ることができます。そしてあちこちの水場で、木槌で叩きながら「洗衣服」の女性の姿を見ることができます。もちろん近くに釣り糸を垂れている人も見られます。

芜湖市北部郊外の長江にかかる「芜湖長江大橋」は、観光スポットではありませんが、わりと知られている巨大大橋です。鉄道・高速道路兼用の2階建ての大きな橋で、いわゆる巨大建造物という感じがします。

日本では見られませんが、高速道路の両側に歩道が設置されており、人が歩いて渡ることができます。渡り切るのに1時間以上はたっぷりかかります。また橋の中央部(ほぼ長江の中央)は、水面から高さ50m以上もあり、ここからの晴れた日の眺めはたいへん素晴らしいものがありました。2008年5月時点では歩道の入口の門が施錠されており、一応立ち入り禁止



になっていました。しかしすぐそばのフェンスに人が出入りできる分の穴が開いており、適宜人が出入りしておりました。現在？

芜湖市へは南京空港から車で移動していましたが、始めて訪れた2004年6月末ごろ、とにかくいたるところが工事、工事、工事中でした。高速道路・マンション・工場・オフィスビル、等々。

最近は一時の建設ラッシュは過ぎたようですが、いまだにいたるところが工事中のです。初めのころは移動の1/3ほどが高速道路でしたが、現在は完成し全部高速道路で移動ができます。(高速道路は日本と同じで有料制)。

田舎ゆえか？。かつて生活道路であったためか？、横断歩道のある高速道路(2008年5月時点有り、現在？)。さらにこれまた田舎ゆえか？、人間、自転車・バイク等々もが通行する高速道路。もちろん禁止でしょうが…。こうした光景は、さすがに北京や上海では見受けられませんでした。

もう一つ驚くことは、建築現場の多くの足場は「竹」が組み上げられているのです。一部には鉄パイプあるいはローリングタワーを使用しているところも見られますが、4、5回建ては勿論、10階建て位までは「竹」を組み上げられているのです。大丈夫かな？ かつての日本ではたしか丸太を使っていたように記憶していますが……

これまで仕事で20数回中国を訪れましたが、残念ながら観光旅行の経験はありません。仕事では通訳が付き、ホテル(四つ星級)のマネージャークラスの人は一応英語が出来、また中国語は「一点点」のカタゴトでも買い物くらいは十分できました。仕事でも日常生活でもほとんど不自由がないので中国語をマスターし

たい・しなければ、と言う気持ちはふしぎと湧きませんでした。

しかし1年半以上中国へ行く機会が無いと、今度行く時は現地の方々と直接意思疎通ができたらなあ、と思い中国語の学習を始めましたが…。

とにかく「継続こそ力なり」で、続けていきたいと思っています。

いずれは、「観光で」中国をゆっくり巡りたいなあ！

## 中国建築事情

星期一班 泉 哲夫

2005年6月～2007年7月

知人を介して中国の広東省で日系の精密機器組立工場の会社で従業員の寮を建設するので工事管理の仕事をして見ないかとの打診を受けてから色々とその会社の事情もあり話が10ヶ月程度途絶えていましたが、2005年6月に入り突然、日本の親会社のオーナーから出来るだけ早く仕事に着任して欲しいとの指示があり、その6月末から中国に入るようになりました。



その頃私は長年勤めた建設会社を早期退職した後、やはり同じような建築関連関係の会社に再就職しそこの5年ほどで辞め、まもなく63歳の誕生日を迎える寸前であり、妻と二人だけの刺激や変化のない退屈な生活が続いていたため、新しく始まる中国での生活に習慣の違いや言葉の壁などあまり心配することなく、ただ好奇心と異国での仕事をする事の興味だけに引かれたように広東省東莞市の日系の会社での仕事が始まりました。

従業員の宿舍ということで計画から始め、日



本の寮のように一部屋一人か二人を予想していたら、既存の5階建ての寮がありそこは一部屋12人から16人を2段ベッドで収容していて、当時従業員1800人程度の人数を2400人程度に増やす予定があり、既存の寮室の改善も考慮し、一部屋あたり8人収容するということで決め、食堂、娯楽室、洗面浴室なども含めて女子約1000人収容の寮とすることで計画をまとめ、最上階に一人部屋の幹部宿舍30室を加え、最終的な規模は9階建てで面積も10,000㎡を超える大規模な鉄筋コンクリートの建物としてスタートいたしました。

地元広東省でも大手と言われる建設会社に全てを託し、設計事務所も名のある会社に依頼して申請図面をまとめ地元の政府機関に申請したところ、事前協議を基に法律に合わせ図面を作成し、本申請を出したわずか2ヶ月くらいの間に新しく法律が出来その適用を受けさせられ杭や階段を追加させられる始末でした。

中国ではここ数年の間に建築関係の法律が急速に整備され、官報や告示といった周知が徹底されずに中央政府からの指示が各出先の政府機関で適用されるため、このような変更指示は当然のことと設計事務所に開き直られる始末でした。契約後の大きな追加変更は日本の親会社に納得をしてもらうのに大変悩まされました。

しかし驚きは工事が始まってからも続きました。

既存3階建ての建物解体があり、工事公害を考え周囲の会社に挨拶が必要と考えていたら、中国では例え一企業の建物工事とはいえ、国の建物を造ることになるのだから、近隣は決して文句や苦情は言わないのだという有り難い話もありました。

旧正月の春節までは雨もほとんど無く、工事も進んで行きましたが、躯体工事の最盛期になり、高層階の躯体工事にかかり始めた頃から雨が多くなり、5月、6月は例年に無い大雨の日が続きました。

工事工程も目に見えて遅れが出てきて、建設会社との工程の再確認をしたとき、初めてとんでもない中国の慣習と言うものを聞かされました。それは当初作成し契約書にも記載してあ

る工事期間は仕事が出来ない雨の日は考えない工事工程であるということを知りました。日本と比べ短い工期を何度も確認をして合意を得たつもりが、この期に及んで雨の日はその降った日数分は遅れて当然といい、国の法律でも認められているということで、まさにヘルメットの上から角材で殴られたような痛い気持ちを感じることになりました。

現場の事情も違い、仮設の竹の足場は良く知られますが、作業員には女性が多く壁の煉瓦やブロック積みの職人に30歳前後の女性が目に付きました。当然の様に夫婦で働き、黙々と働く姿が今でも思い出されます。

工場の従業員と同様に、中国の現場では作業員全員の食事と寝床の面倒をみる為、作業の職種が移るたびにわずかばかりの生活用品と寝具を抱えた人たちの家族や単身者の入れ替えを目にする事になりました。

多民族国家に相応しく色々な人種の所帯道具を抱えての何人か去っていく姿は遊牧民族が家を



たたんで次の目的地に移り住むような情景と重なり、市街地の現場でありながら、日本人の私にとって、あたかも中国の草原にいるかのような錯覚さえ覚えてしまいました。

竣工予定を1ヶ月以上過ぎてしまった時点でも明確な完成予定時期が私にはみえてきませんでした。工事関係者や中国人の知人に話してもお天気の話は「没有办法」(仕方がない)という中国語しか返って来ません。大陸的な中国の大きさを知られ、今更ながら異国での仕事の厳しさを教えられました。

結局その工事は約3カ月遅れて完了しましたが何のペナルティも課せられることはありませんでした。そればかりではなく同じ業者にその後すぐ3階建ての工場の増築工事を追加依頼することになり、それは予定通り完成し、私は2007年7月にひとまず2物件を完成させたということで日本に帰国いたしました。



## 私の入院記

上海旅行 星期三班 蜂屋 和男

2009.6.3~7.11

今回の旅行は旅行社を利用せず、友人の家族4人と一緒にの旅行でした。

ホテルを利用せず友人の妻のマンションに泊まった。

6泊5日の予定の旅行だったが、帰国の日浦東空港に向かう途中交通事故に遭い帰国予定が1ヶ月遅れてしまった。

交通事故の発生状況を書いてみる。

AM5:30予約していたワンボックスカーで、高架道路を使って浦東空港に向かっていった。

後30分で浦東空港到着の場所で突如運転手がハンドルを取られ、大きな声を出し右のガードレールに激突し、車は横転した状態で道路の中央に止まる。幸い道路が混んでいなかったの、追突事故に遭わなかったのが不幸中の幸いだった。

自分で横転した車の中から出ることが出来た。その時は肋骨にひびがはいた程度かなと思った。

病院の診断では五人の中で自分が一番の重症だった。

救急車が15分ぐらいで到着、自分は台車に乗せられ四人は椅子に座り病院に向かう。

病院に到着、台車に乗せられた状態で病院の通路で30分待たされる。

レントゲン検査、CT検査の結果、左の鎖骨骨折、肋骨3本骨折だった。

その後浦東病院に移される。病室は17階に有り、外国人専用の病室で、一人部屋で1

0畳ぐらいの広さで、トイレは水洗、シャワーも付いている。テレビも有り日本のNHKが放映されている。

入院して7日経った。今日は鎖骨骨折の手術の日だ。AM5:30起きヘルパーさんに全身を拭いてもらう。AM7:45手術に出発、手術台で15分待つ。室内は音楽が流れていた。

麻酔の医師が入ってきた。医師が紙を差し出し名前を書いてくださいと、蜂屋和男と書いた。医師は、はちや、はちやと看護師に話しかけていた。医師は私に、今日本語を習っていると言っていた。

(麻酔知情同意書)を渡され中国語で説明されたが内容も解らずサインする。生まれて初めての手術。手術の不安はない。しかし、全身麻酔は不安を感じた。しかし、考えてもしょうがない、(まな板の上の鯉)の心境になる。

手術は無事終わり5時間後部屋に戻る。

今回の入院で感じたことは「中国語を学ぶ会」で勉強したことが大変役に立った。

特に李老師に現代の中国文化を聞いていたので、日本の文化と違うことがあったが何の不安も感じなかった。中国旅行は旅行社を利用するので電子辞書は持参しないが、今回は個人旅行なので持参したが大変役に立った。

今回の交通事故は上海公安局の現場検証、車の破損状態を見ると死亡者が0だったのは奇跡に近いと話していた。

事故を起こしたタクシー会社は上海で有名な錦江出租汽车公司、上海でタクシーに乗るんだったら「大众」「锦江」「強生」の会社の車に乗ると良い。

32日間の入院で覚えた中国語を紹介しよう。

- 1、人気美食 2、腐烂 3、生活时尚 4、不合时尚 5、眼界 6、迷失 迷失少年 7、热线 热线电话 8、直播 9、重播 10、天下 朝闻热线 11、拍马屁 12、骆驼 13、康复 康复中心 14、模仿 请勿模仿 15、联播 16、吸管 17、购物 18、良药苦口 苦得不能吃 19、值班 20、刺药





2 1, 假牙 2 2, 淋浴 2 3, 洗澡 2 4, 小宝宝  
2 5, 梨子 2 6, 李子 2 7, 杨梅 2 8, 主要人  
物 2 9, 编号 3 0, 龙卷风 3 1, 西班牙 3 2,  
心愿 3 3, 煮鸡蛋 3 4, 假期 3 5, 首播 3 6,  
周日 3 7, 青蛙 3 8, 阿姨(上海ではヘルパー、  
掃除のおばさん、食事を運ぶ人をこう呼んだ)

## 数字はいかが？

李 老師

日本人和中国人一样对数字都很迷信，但日本人  
不像中国人那么执着。

想用发发发就使用 8888

日本人对于数字的联想主要是从发音的意思来  
考虑，他们在选择车牌，电话号码，电子邮件地  
址是用谐音选择数字，例如日本三菱公司的电话  
号码是 3030-5430, 谐音是三菱三菱我是三菱的  
意思。我有一个朋友的电话号码很好记  
8080-5963, 意思是你好，辛苦了，日语是ハロ  
ハロ御苦労さん。

最近在中国年轻人中流行用数字表达某种意思，  
例如 520-我爱你，530-我想你，756-辛苦了，  
9191-加油加油，786-吃饱了。怎么样，数字很  
有意思吧。

rì běn rén hé zhōng guó rén yī yàng duì shǔ  
zì dōu hěn mí xìn \* dàn rì běn rén bù xiàng  
zhōngguó rén nā me zhuó  
xi ā ng yòng fā fā fā fā jiù sh ĭ yòng  
rì běn rén duì yú shù zì de lián xi ā ng zhǔ  
yàoshì cóng fā yīn de yì sī lái kǎ o l ù 、  
tā men zài xu ā n zé chē pái、diàn huà hào  
m ā 、diàn z ĭ yóu jiàn de zh ĭ shì yòng xié  
yīn xu ā n zé shù zì, lì rú rì běn sān líng gōng  
sī de diàn huà hào m ā shì3030-5430,  
xié yīn shì sān líng sān líng wǒ shì sān líng  
de yì sī.  
wǒ yǒu yī gè péng yǒu de diàn huà hào m ā  
hěn h ā o jì 8080-5963, yì sī shì n ĭ h ā o,  
xīn kǔ le, rì yǔ shì ハロハロ御苦労さん。  
zuì jìn zài zhōng guó nián qīng rén zhōng liú  
xíng yòng shù zì bi ā o dá mǒu zhǒng yì sī, lì  
rú wǔ èr líng \* wǒ ài n ĭ , qī wǔ liù \* xīn kǔ le,  
jiǔ yī jiǔ yī \* jiā yóu jiā yóu, qī bā liù \* chī  
b ā o le. zěn me yàng \* shǔ zì hěn yǒu yì sī ba。

編集を終えて

今回はアンケートで会員諸氏に原稿を書いて頂いた。それと、会員の中に中国で活躍された  
かたがたの赴任中のエピソードなどを書いて頂いた。そこには皆様の思いが、実績が、失敗談  
が、・・・楽しく読ませて頂いた。

本来は春・秋2回の発行をと計画しておりましたが、なかなか余裕もなく、それでも年内に  
何とか1回発行できたことは、老師はじめ皆様のご協力あってのことと感謝している。

3月に予定している研修旅行では、それぞれの思い出や発見などたくさんの投稿が期待でき  
るものと、今から楽しみにしている。 渡邊

# 中国のレストランで いろいろ



上海蟹雄雌



白酒と紹興酒



豚の太股角煮風



蒸し地鶏



火鍋



潘安湖の朝食



ジャガイモの麺



腐豆腐と子マキ

35周年を迎えた  
中国語を学ぶ会  
神奈川県平塚市

